

# ファイナル・レポート

(日本語抄訳版)



2022年10月21日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

## CARAVAN SALON DÜSSELDORF 2022

### 心躍る出会いの場となったメッセ会場

CARAVAN SALON DÜSSELDORF2022 は、数々の新製品やイノベーション、好調な来場者数、素晴らしい雰囲気により、キャラバンというホリデースタイルが確実にトレンドとなっていることを印象付けました。10日間の会期中、72か国から23万5,000名を超えるキャラバン・アウトドアファンがデュッセルドルフに集まり、34か国・736社の出展製品・情報に触れました。メッセ・デュッセルドルフのメッセ担当専務取締役エアハルト・ヴィーンカンプは、「厳しい経済状況下においても、このレジャースタイルに高い関心があり、具体的な購買意欲をお持ちの皆様にご来場いただくことができました。会期中は常に会場の雰囲気が素晴らしく、モバイルレジャーに対する参加者の熱い思いを感じられました」と素晴らしい成果を総括しています。

ドイツキャラバン産業工業会 (CIVD) のヘルマン・パフ会長は今回の成果を受け、「2年間パンデミックによる制約を受け、比較的普段通り開催された今年の CARAVAN SALON に多くのキャラバン、アウトドアファンが来てくださったのは期待通りでした。業界ナンバーワンメッセである CARAVAN SALON では、今回は過去最大というだけでなく、かつてないほどクオリティが高く多岐にわたる出展製品やイノベーションが紹介されました。また何よりこのメッセは、業界の重要なプラットフォームとして成長しています。レジャーのひとつのスタイルとしてのキャラバニングの経済的・観光的ポテンシャルはまだ開拓の余地がありプロモーションが必要なため、政治や観光分野において決定権を持つ人々と密に情報交換ができることは大変重要です。またモーターホームやキャラバンが自由や個性、夢を象徴するものになりつつあり、CARAVAN SALON は重要な心躍る出会いの場にもなっています。この旅のスタイルがパンデミック前から人気となり、今日では休暇を楽しむ多くの人々にとって外すことのできない選択肢になっていることに特段の驚きはありません。キャラバンのトレンドには終わりが見えません。CARAVAN SALON は来場者をワクワクさせただけでなく、主催者や出展者に大きな成功をもたらし、業界にポジティブな未来を見せてくれたのです。」と語っています。

またホール3の装備・アウトドア、トラベル・ネイチャーには多くのアウトドアファンが集まりました。ドイツ・ハイキング協会のウテ・ディックス専務理事は、「今回のメッセで、ハイキングを楽しむ人々が

手つかずの自然景観を求めていることがわかりました。また余暇においてもサステナビリティに配慮し、ハイキングによる自然への負荷が最小限に抑えられるよう努力しています。公共交通機関を利用して行けるハイキングコース、宿泊施設での地産地消、再生可能エネルギーの利用などがますます重要になっています。今回の CARAVAN SALON では、キャラバンの業界団体とともに、持続可能なネイチャーツーリズムに必要な条件とその可能性を探れたことを大変嬉しく思います。」と成果を語りました。

次回・第 62 回 CARAVAN SALON DÜSSELDORF は 2023 年 8 月 26 日から 9 月 3 日（プレビュー：8 月 25 日）にデュッセルドルフで開催されます。

CARAVAN SALON DÜSSELDORF のファイナル・レポート（オリジナル、英語）は[こちら](#)からご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：富田

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: [mdj@messe-dus.co.jp](mailto:mdj@messe-dus.co.jp)



© Messe Düsseldorf / C. Tillmann

## 【出展者の声】

- ・ 「今年弊社がプレミアム・バン・セグメントに参入することを発表した。デュッセルドルフのこのメッセは、新しいシーズンのキックオフとして理想的なプラットフォームだ」(Hobby 社、ホルガー・シュルツ社長)
- ・ 「製品への高い関心、供給不足、将来への不安が顕著に見て取れたが、価格が大幅に上昇しているにもかかわらず購買意欲のあるお客様が予想以上に多かった。世界的に自動車用電子部品が不足しているため、シャシーメーカー、次にモーターホームメーカーの生産休止が長引いている。納期が短く、納品日や価格が明確に提示できれば、購入を即決するお客様は多い。しかし、納品が1年先のいつか、価格も保証できないとなれば、買い控えが進む。弊社は納車が確実な車両をベースにすることで対応している」(Eura Mobile 社・Trigano Deutschland 社、ホルガー・ジーベルト社長)
- ・ 「予測を大きく上回り、非常に満足のいく成約数を得られた。デュッセルドルフには最高な条件が揃っており、弊社の CARAVAN SALON 出展は満足どころではなく大成功だ」(Knaus Tabbert 社、最高販売責任者ゲルト・アダミツキー氏)
- ・ 「来場者の多い、雰囲気の良いメッセだった。フル装備の大型モーターホームの需要が高まっており、四輪駆動や自給自足などのテーマも注目されていた。これらはお客様との対話でわかったことであり、業界の未来は明るく、弊社の戦略も的確であることが確認できた。CARAVAN SALON はディーラー、パートナー、顧客との意見交換ができる重要なプラットフォームだ。」(HYMER 社、クリスチャン・パウアー取締役会長)
- ・ 「現状の供給・価格条件から複雑な思いで臨んだメッセだったが、来場者の多さやブースでの顧客とのポジティブな対話によってキャラバンというレジャースタイルには依然として高い関心が寄せられていることを再認識した。」(Carthago グループ、営業・マーケティング・顧客サービス担当マネージングダイレクター、ベルント・ヴシャック氏)
- ・ 「ドイツの経済状況を鑑みあまり期待せずに出展をしたものの、来場者からの関心の高さにいい意味で裏切られた。順調に成約も得られ、大変満足のいく CARAVAN SALON 2022 だった」(la strada Fahrzeugbau 社、マルコ・ランゲ代表取締役社長)
- ・ 「ステージで様々な提案をプレゼンすることができ、ブース出展と組み合わせることで多くの来場者にキャンプ・アウトドアの目的地としてのカタルーニャの魅力を知ってもらうことができた」(カタルーニャ州政府観光局中欧地域担当ダイレクター、モンセラート・シエラ氏)